

福祉大教職員と学生

2月24日、東北福祉大学の教職員と学生ら8名による湯原地区で今年3回目の除雪ボランティア活動が行われました。今回の活動は「地域と自然の共創実習」の一環で、湯原雪害防止対策本部の指導・案内と、地域おこし協力隊員の支援のもとに行われ、高齢者家庭の除雪作業に汗を流しました。



総合福祉学部、村田助教からのコメントを紹介します

この度、縁あって、学生らと一緒に、湯原地区において「軒あけ（軒下を切る）」作業のお手伝いをさせていただきました。学生らには、雪害対策を体感させていただくことで、物事を外在的に判断するだけでなく、「共にある中で学ぶ」ことの重要性を体得する機会となったように思います。代表をして、お礼を述べさせていただきます。ありがとうございました。来年度以降も継続していきたいと考えておりますので、今後どうぞよろしくお願いいたします。大変お疲れ様でした。

森 永 桂太郎 隊員

3月も半ばを過ぎ、すっかり春めいてまいりました。家の周りを囲んでいた雪もだんだんと融け始め、地面の草も顔を出し、気持ちもすがすがしいです。

3月には、東京都六本木にて、協力隊全国サミットへ参加させていただきました。心に残ったのは、長崎県対馬市島おこし協働隊OBの方の講演です。七ヶ宿町とは気候は全く異なりますが、山の多い地域で、「地場産業の規模が小さい」「少子高齢化が進んでいる」という共通の課題を抱えています。その中で、「学び」をテーマとした観光で、若者を呼び込むことに成功しており、



慣れてきた我が家にさらば！

「七ヶ宿町でも上手く取り入れられれば」と強く感じました。

(追伸) 3月末をもって、湯原から瀬見原へ引っ越すことになりました。湯原の皆様には大変お世話になり、何も恩返しできていない中での引っ越しは寂しいのですが、新天地で町のために尽力できればと思います！七ヶ宿町の皆様、今後ともよろしくお願ひいたします。

瀬戸 美幸 隊員

12月の大雪から本格的に冬が始まり、2月末には地域の方から「あと1ヵ月、この寒さを我慢すれば暖くなるよ～」という言葉をいただいております。しかし！まさか3月半ばにもこんなに雪が降るとは。やはりというか、さすが豪雪地帯といったところでしょうか。せつかなので、もう少し冬を楽しみたいと思います♪

それでは、活動報告をさせていただきます。3月8日(日)、地域おこし協力隊の全国サミットが東京の六本木ヒルズで行われ、七ヶ宿町の協力隊員5名も参加して参りました。各地域の活気を感じ、協力隊やOBの方のお話を聞いて、気持ちがしゃんとするとともに、これからの事を考え直す良いきっかけとなりました。

今、私はインターネットで七ヶ宿町の名産品を販売することが出来ればと思い、模索している所です。まだまだ情報も足りず、一歩進んでは立ち止まり、それこそ二歩下がることもある状態ですが、温かく見守っていただけると幸いです。そして、これから町民の皆様にもネット販売のお話をさせていただきにお伺いすることもあると思います。その際は、是非、お話を聞いていただけたら嬉しく思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。



全国サミット交流会にて